



2019年9月14日(土) チーム神於山活動報告

2019.09.16
シャープ社友会
チーム神於山
真砂 記

■活動日：2019年9月14日(土) 9:00~12:00

■参加者：チーム神於山 9名

■活動内容

- ・今回は、雨で不発に終わった前回のリベンジで、記念樹ゾーンのみかんの木の植栽地以外のエリア、多目的広場、基地内、基地から上部植栽地への作業道、上部の林道から植栽地に入る入口の草刈りに取り組み、ほぼ完了しました。
- ・ほぼというのは、暗渠回り、多目的広場と林道間の斜面、上部植栽地内が未だだからですが、植栽地は広いので別にして、他は一時間程度で処理できるレベルだからです。
- ・活動頂いた9名の皆さん、お疲れ様でした。

■次回以降

- ・これでいよいよ2019年度の「フクロウの棲む森づくり計画」を練る時期に来ました。
- ・以前決めた記念樹ゾーンのクリ、リョウブ、シダレザクラ、イロハモミジの処置、倉庫整理や機材のメンテナンスなども手つかずですから、それらと合わせ考える必要があります。
- ・別途ご案内しますので、奮ってご参加ください。

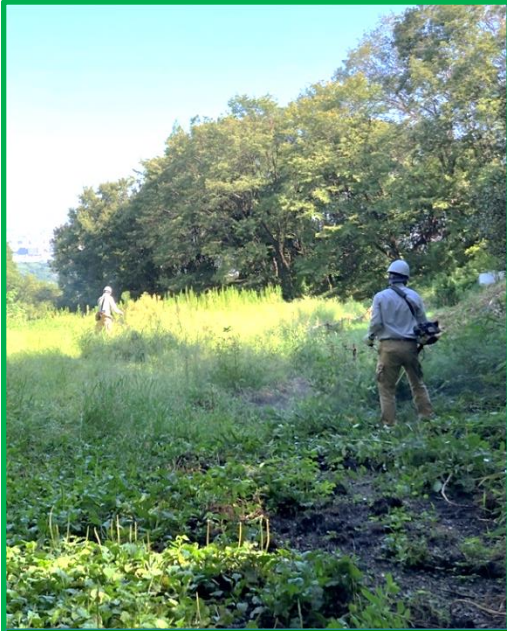
■before & after 集

●多目的広場● やっとすっきりしました。



・「神於山シャープの森」の看板の回りも久しぶりにスッキリしました。

《作業風景》 多目的広場は刈払い機の出番です。



いざ出陣！



刈払機をメインにサクサク刈ります。

●基地から上部植栽地への作業道●

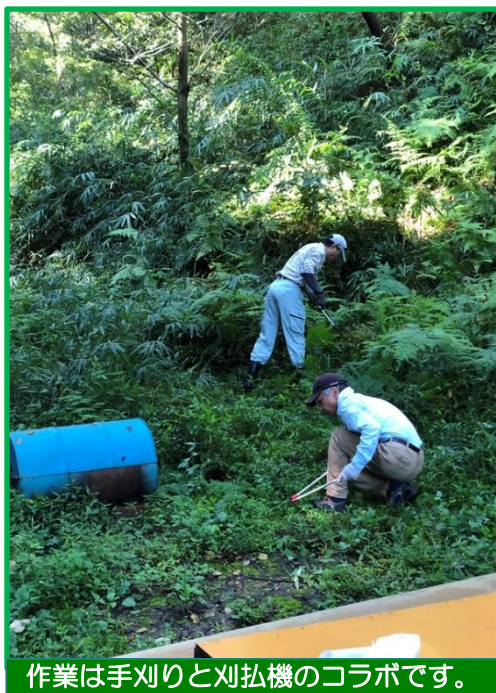
原生種の笹で塞がれていた作業道も、植栽地まで開通しました。



before



after



作業は手刈りと刈払機のコラボです。

- 神於山シャープの森は、高さが2mを越える笹原を刈込んで植樹したので、数年は、笹とクズから苗木を守る事が作業の中心でした。
- 苗木が育つに従い、クズは姿を消しましたが、根が残っている笹は少し油断すると再び伸び始めます。
- 流石に苗木が大きく育った植栽地は伸びても膝下ですが、日光を遮るものが無いところは忽ち芽吹き、大きく育ちます。
- 基地から上部植栽地に向かう作業道は、元々雨水が流れる沢筋ですからV型に切れ込んでいて、笹は左右からも伸びているので、刈払機では刈り切れません。
- そこで作業は、刈払機と剪定鋏のコラボになります。



沢筋の作業道は、笹で覆われていました。

●林道から神於山シャープの森に入る 2ヶ所の入口付近もスッキリ●

下部入口のアドプトフォレストの看板回り

上部入口のアドプトフォレストの看板回り



- ‘神於山シャープの森’ の林道からの入り口は、多目的広場に入る下部と、直接植栽地に入る上部の 2ヶ所に在ります。
- 2ヶ所の入口には、大阪府のアドプトフォレスト制度に沿い、シャープ社友会のチーム神於山が森づくりを進めていることをアピールする「アドプトフォレストの看板」が設置されています。
- 下部の多目的広場に入る入口は、広場の草を刈るたびに看板周りもきれいに刈っていますが、上部の入口は、フクロウの営巣地に近いこともあり、わざと手を入れないようにしていますから、うっかりすると看板回りも草茫茫状態になります。
- 今回は、余りにも草が伸びていましたからきれいにしました。

●活動頂いた皆さん● お疲れ様でした。



刈り込みが済み、上部植栽地に繋がった作業道で撮影。

■写真は、所用で 11 時半ごろ帰られた香遠さんと、撮影者（真砂）を除く 7 名の皆さんです。

以上